

研究実施に関する情報公開

疫学研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。

この研究においては、患者様のカルテに記載された臨床データを研究資料として使用させていただきます。患者様には臨床データ利用の目的と趣旨をご理解いただきますよう宜しくお願い申し上げます。また、研究対象者となる患者様は研究実施されることに拒否することができます。その場合は産科婦人科スタッフ又は、下記問い合わせまでご連絡下さい。

研究課題名： 子宮頸がんに対する根治目的の放射線治療または同時化学放射線療法後の頸部腫瘍残存例における救済的子宮摘出術の実施状況に関する調査研究
研究期間： 倫理審査委員会承認後～1年間（2017年2月）
対象材料： 診療記録情報
目的： 子宮頸がんに対する根治目的の放射線治療あるいは同時化学放射線療法後に頸部残存腫瘍を有する患者に対して行った治療法を網羅的に観察することにより、それらの安全性と有効性を検討する。 この調査研究により、行われた治療法の中で根治治療完遂を目的とした子宮摘出術に適した対象群を抽出し、子宮摘出術の有用性を検証する前向き研究を計画する。
研究対象： 2005年から2014年に根治的（同時化学）放射線治療（外部照射＋腔内照射）を行った子宮頸がんIB期からIVA期症例のうち、放射線治療後に子宮頸部に腫瘍の残存が疑われ、放射線治療終了後1年以内に子宮摘出術、化学療法あるいは放射線治療追加のいずれかを行った症例。
方法： 研究対象となる患者様の診療記録より、調査項目についてデータを収集する。 収集したデータはJCOG婦人科腫瘍研究事務局へ郵送し、参加施設および協力施設のデータを集計し解析が行われる。この調査研究ではお名前、住所、電話番号、カルテ番号等の個人を特定できるような情報は伏せられたままデータを集計しますので、あなたのプライバシーは厳重に守られます。
問い合わせ： 琉球大学医学部附属病院 産科婦人科医局 〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原 207 Tel:098-895-1177 Fax:098-895-1426 研究責任医師：青木 陽一 臨床試験コーディネーター：兼島 いとみ、西平久美子 この研究は、Japan Clinical Oncology Group（日本臨床腫瘍研究グループ） 婦人科腫瘍グループで実施する多施設共同研究です。JCOG ホームページでも研究に関する情報が閲覧できます。 http://www.jcog.jp/basic/clinicaltrial/index.html